

科目名	コンピュータシステム	単位数	2単位	学期	後期
担当教員	梅原 英一		実務経験の有無		○
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-33-B-2-220007	経営情報学部C：情報や情報システムの利活用方法を習得し、仕事や生活に活用できること			
授業の目的	ITの主役の1つであるコンピュータシステムの動作原理の基本知識を獲得することは、現代ビジネスを円滑に進めるための必要である。この観点から本授業ではコンピュータ全体とその構成要素について学習する。具体的には、コンピュータ上で使う情報の表現、入出力装置、主記憶、演算、制御などの基本装置を学習する。				
学修到達目標	<p>概ね以下のような目標を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンピュータ仕組みを理解する（試験20%、レポート10 %）。 ・ コンピュータがなぜ動作するのかを理解する（試験20%、レポート5%）。 ・ ソフトウェアがなぜ動作するのかを理解する（試験20%、レポート5%）。 ・ コンピュータの適切な利用法を理解する（試験20%、レポート10 %）。 				
実務経験との関連性	担当教員は、IT企業のシステム開発部門および金融機関の情報システム部門で実務経験がある。				

授業計画	
第1回	コンピュータの役割
第2回	コンピュータ内部の情報処理方法（論理演算）
第3回	コンピュータアーキテクチャとCPUアーキテクチャ

第4回	コンピュータ内部のデータ表現：2進数
第5回	データ表現：10進数から2進数、16進数への変換
第6回	コンピュータ内部のデータ表現：浮動小数点数、文字表現
第7回	コンピュータメモリ
第8回	外部メモリと外部装置
第9回	ファイル内データ表現
第10回	プログラム（ソフトウェア）実行環境
第11回	プログラム実行形式
第12回	OSとアプリケーションソフトウェア
第13回	プログラムの動作原理

第14回	コンピュータの利用法（1）
第15回	コンピュータの利用法（2）
第16回	定期試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	予め配布した施療の予習に2時間を要する
【復習】時間・内容	資料の不明点の復習に2時間を要する

成績評価	
評価基準・方法	概ね以下のように評価する <ul style="list-style-type: none"> ・成績は期末試験（80%）と自己学習によるレポート課題（20%）により評価する。 ・レポート課題は15回中で4回程度課する。時期は事前には指定しない。 ・試験問題は、教科書、授業内配布資料、授業で使用するスライドなどから出題する。
フィードバック方法	<フィードバック法> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の小テストなどは、授業時間内で答え合わせをする ・定期テストは、ポータルの授業連絡機能により、試験結果の全体講評を履修生全員に伝える

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	
教科書/参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 プログラムはなぜ動くのか 矢沢久雄著、日経ソフトウェア監修、日経BP社 ・参考文献 随時紹介する。
受講上の留意点等	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システム学科の情報指向、経営指向いずれの学生でも身に付けておくべき基礎教養である。 ・知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う（反転授業を）を実施する回がある。 ・各回は関連性が深い。欠席はできるだけ避けること。
JABEE	関連する学習・教育到達目標：E、G